

令和三年度 入学式 式辞

暖かな日差しの中、校庭のたくさんの草花の新芽が青々と茂り、花は咲き、今日の日を祝ってくれているように思われます。

本日は、コロナ禍で未だ予断を許さない中、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜りまして、令和3年度 松尾中学校入学式を挙行できますことを心より御礼申し上げます。（礼）

さて、143名の新入生の皆さんご入学おめでとうございます。

松尾中学校の教職員を代表して、心からお祝い申し上げます。(礼)

皆さんは、今日から、誇りある、この松尾中学校の生徒です。どうか、今の新鮮な気持ちと希望を忘れることなく、中学校三年間を、明るく、楽しく、元気に送って頂きたいと思います。

皆さんは、これまで小学校で、沢山のことを学んできました。中学校は、その力を、さらに伸ばし、将来の自分の進むべき道を、切り拓いていくところです。

これから、小学校時代より、もっと、勉強して、心と体を鍛え、正しい判断力

を持ち、自分から、進んで行動できる人になって欲しいと思います。

中学校時代の三年間は、長い人生の中では、本当に短い時間かも知れませんが、しかしながら、自分の将来の生き方を、大きく左右する、とても、大切な時間でもあります。

そのとても大切な三年間を、充実した時間にしてもらうために、これから、大切にしてもらいたい三つのことをお話します。

一つ目は、「人」を大切にしましょう。ここで言う「人」とは、自分も含めた「全

ての人」と言うことです。まずは自分を大切にしましょう。例えば、自分の命・体・思い・考え方など、それらに丁寧に向き合い、自分を認めて欲しいと思います。また、自分以外の全ての人に対して、認め、敬う気持ちを大切にしてください。相手の良いところも、そうでないところも受け止めて、互いに成長し合える人間関係を築いて欲しいと思います。

二つ目は、「物」を大切にしましょう。物を大切にするとすることは、「使わずに大事にしまっておく」と言うことで

はありません。自分の物、人の物に関わらず、いたわ 労りをもって丁寧に大切に扱うことです。また、物に対して責任を持つということでもあります。使い方はもちろん、使った後の処理まで責任をもつことが大切です。物を大切にする姿勢や考え方を通して、自分の心を豊かにして欲しいと思います。

三つ目は、「時」を大切にしましょう。時間は全ての人に平等に与えられています。中学校三年間という限られた時間の中で、有意義な時間が過ごせるように「時間の管理」ができる人になって

欲しいと思います。そのために、松尾中学校では、Mノートというものを活用しています。MノートのMとは、松尾中のM、モニショニングのM、未来のM、自分を写してくれるミラーのMなど、様々な意味が込められています。具体的には、毎日のスケジュールや目標を自分で計画して、行動できるように活用します。限られた時間をより有効に使おうとすることを通して、自律した人になって欲しいと願っています。

これら、「人・物・時」を大切にした学校生活を通して、松尾中学校の校訓

である「豊かな心」を育んでくれることを願っています。

さて、保護者の皆様一言お祝い申し上げます。お子たちのご入学、誠にありがとうございます。

今年度から、新学習指導要領の完全実施により、学び方や評価方法など教育が変わり、また、GIGAスクール構想により、生徒、一人一台のタブレット端末を利用しての学習が始まります。先が見え憎く、^{にく}AIなどの活用により、変化していくこれからの時代に対応すべく子どもたちに様々な「力」をつけられ

るよう教育を推進して参ります。

本日、この日までには、保護者の皆様は
お子さまたちに精一杯の愛情を注いで
育てて来られたと思います。今日から
私たち教職員は、保護者の皆様と力を
合わせて、子どもたちのために、誠心誠
意、努力して参りたいと思います。ご家
庭におかれましても、学校での教育活
動に、ご支援並びに、積極的なご協力の
ほどよろしくお願いいたします。

結びになりましたが、ご来賓の皆様
には、本校の入学式に当たり、ご多忙の
中、ご臨席を賜り、新入生の前途を祝福

していただききました。高いところからではございませんが、厚く御礼申し上げます。（礼）学校・家庭・地域が一体と
なっ
て子どもたちを守り、育てていくことが何よりも大切だと考えます。ご
来賓の皆様方の温かなご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

新入生の皆さんの健すこやかな成長を祈念いたしまして、式辞といたします。

令和三年四月七日

京都市立松尾中学校長

林 秀雄